

# 市民アンケート調査報告

## 1. 調査概要

### (1). 調査の目的

市民の環境に関する意識・行動の状況、施策へのニーズ等を把握するため、アンケート調査を実施した。

### (2). 調査の方針

- ・ 現行計画における市の環境施策の評価や今後の施策検討に資する設問のほか、市民の意識がどのように変わっているかを把握する項目設定を行い、環境行動等を問う設問については、行動変容を促すうえで課題となっている点などを把握する設問設定を行った。
- ・ また、従来の「環境問題」だけに限らず、「経済」との関係などの設問のほか、近年の社会動向を踏まえた「SDGs」や「気候変動の影響」等について、把握する設問設定も行った。

### (3). 調査概要

#### 【調査対象】

市民 2,000人

#### 【調査票の枚数】

A3版両面印刷2枚の2つ折り(A4版8頁形式(依頼文含む))

#### 【配布、回収方法】

郵送

#### 【集計方法】

単純集計及びクロス集計

\*本報告については、単純集計のみ掲載

#### 【回収率】

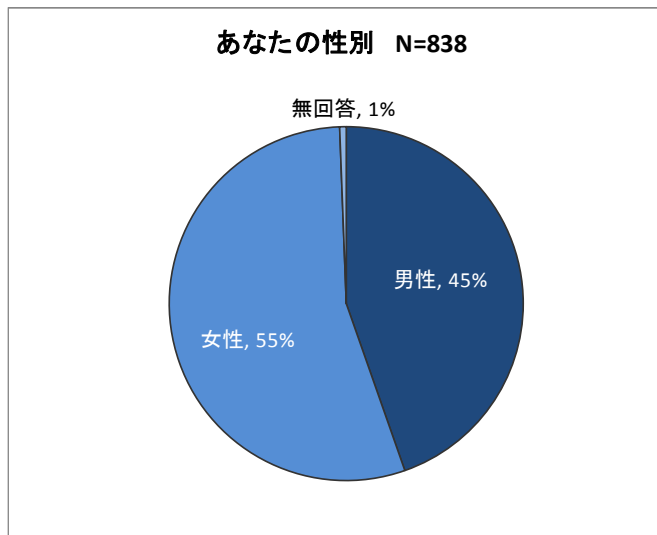
41.9% ( 838/2,000人)

## 2. 調査結果報告

### (1). 属性について

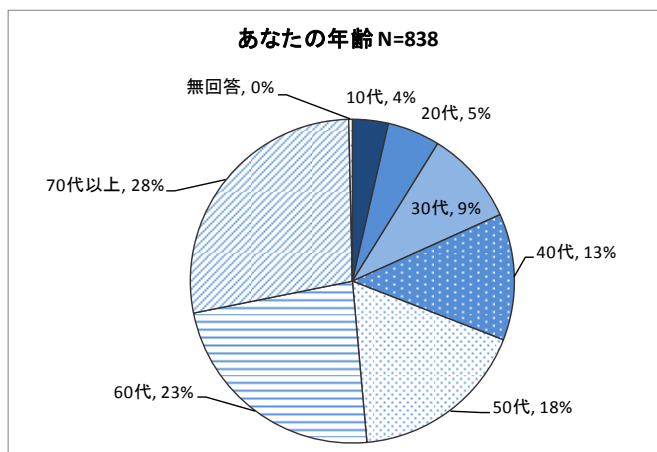
#### ●性別

男性が 45%、女性が 55%を占める。



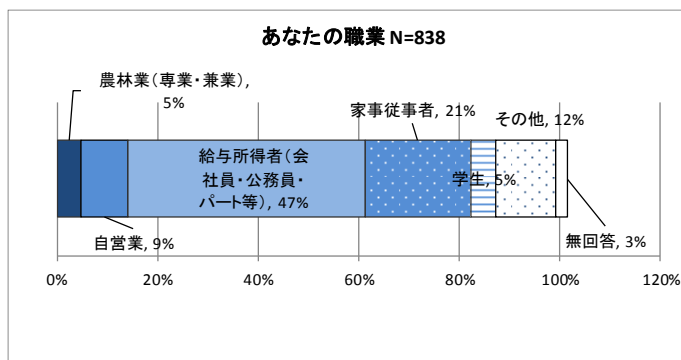
#### ●年齢

70代以上が 28%、60代が 23%と、約半数が 60代以上となる。



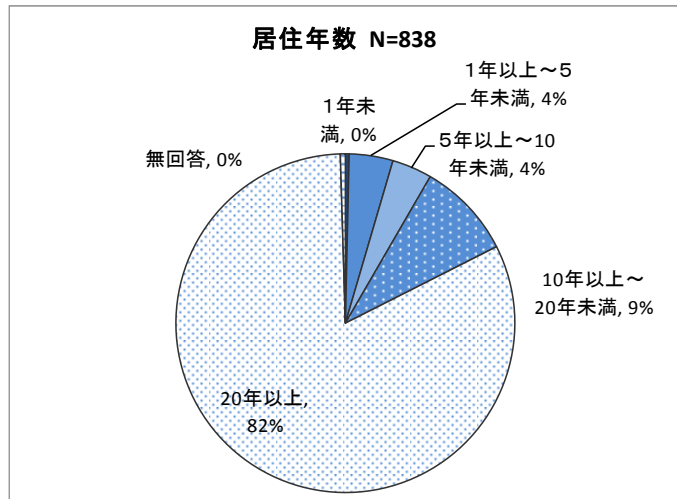
#### ●職業

給与所得者が 47%を占め、家事従事者が 21%を占める。



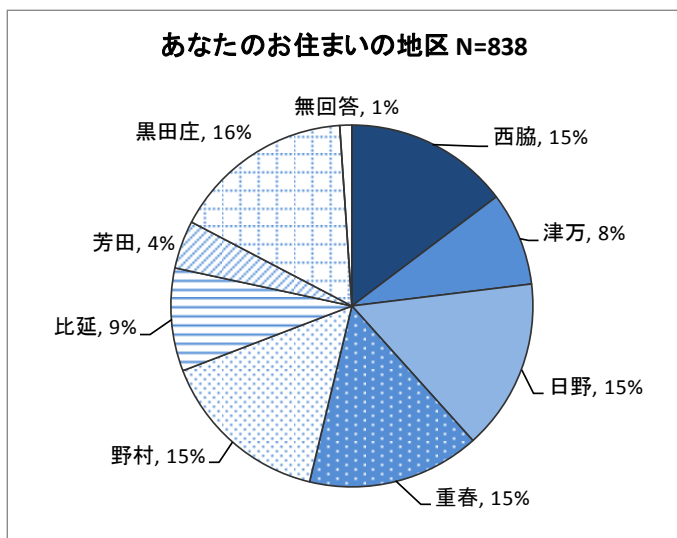
●西脇市在住歴

20年以上の在住歴が82%を占め、長年  
住まわれている方が回答いただいている  
様子がわかる。



●お住まいの地区

各地区4～16%の割合となっている。

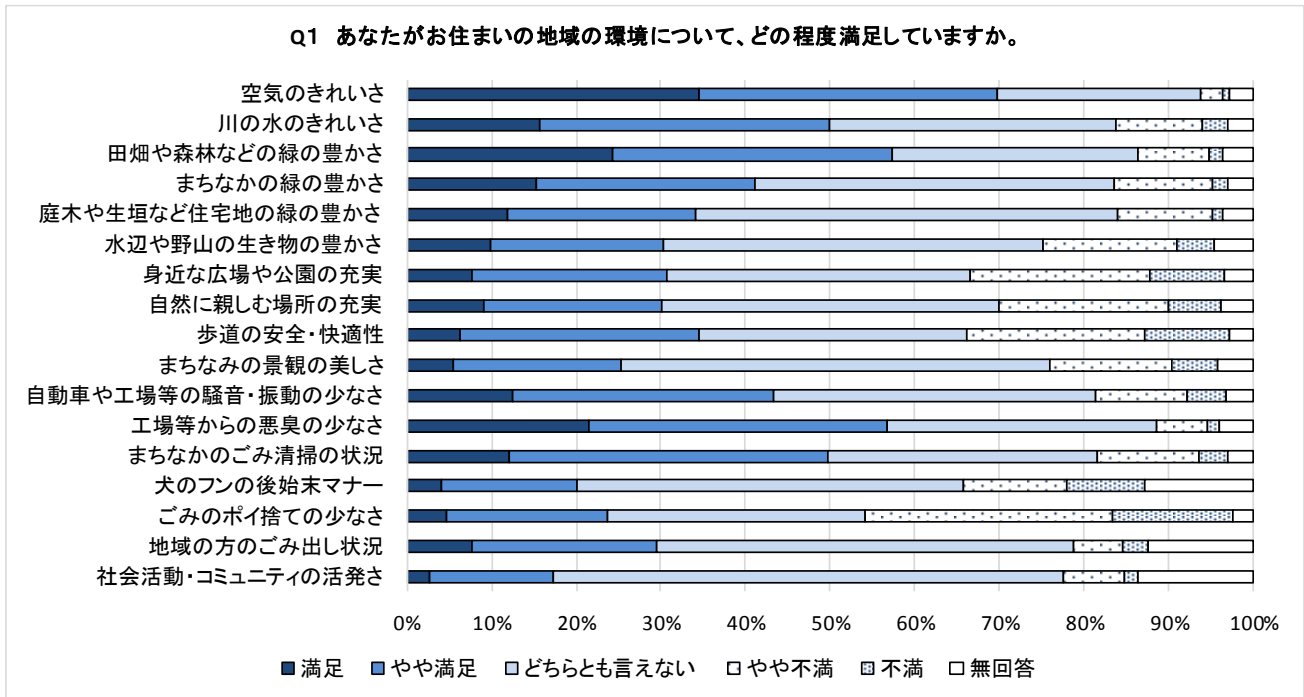


(2) あなたがお住まいの地域についてお聞きします

問1 あなたがお住まいの地域の環境について、どの程度満足していますか。現在の満足度及び以前との比較について、あてはまるものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○を付けてください。

空気のきれいさ、川の水のきれいさ、田畑や森林などの緑の豊かさ、工場等からの悪臭の少なさ、まちなかのごみ清掃の状況について、50%以上の方が満足・やや満足と回答している。

一方、ごみのポイ捨ての少なさは、43%の方が、やや不満・不満と回答しており、満足している人より不満に思っている人の方が多い。



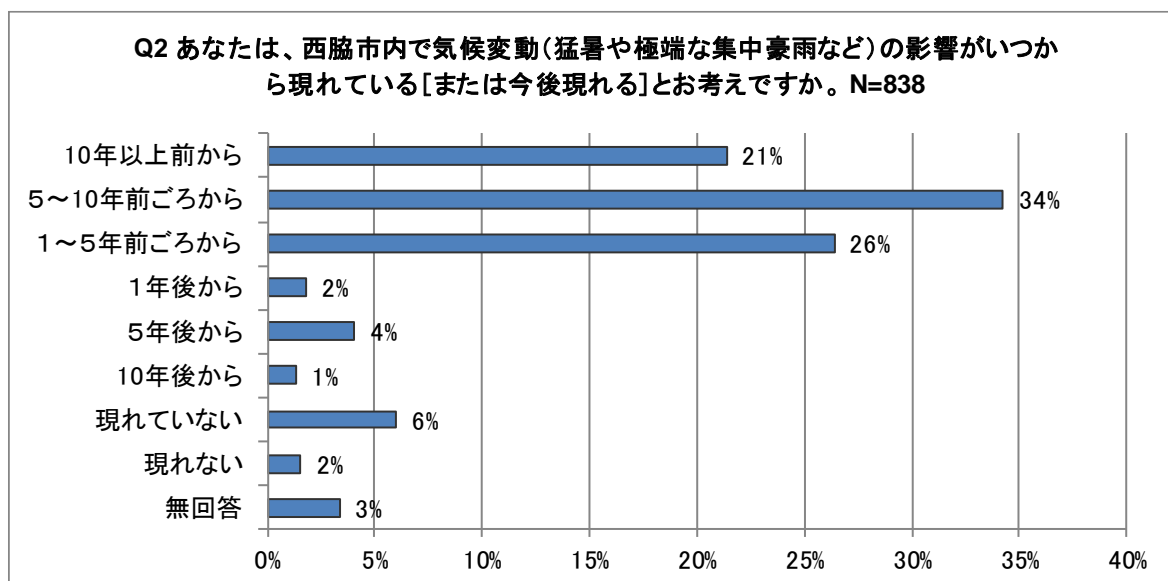
お住まいの地域の環境の満足度について

	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	無回答	合計
空気のきれいさ	35%	35%	24%	3%	1%	3%	100%
川の水のきれいさ	16%	34%	34%	10%	3%	3%	100%
田畑や森林などの緑の豊かさ	24%	33%	29%	8%	2%	4%	100%
まちなかの緑の豊かさ	15%	26%	42%	12%	2%	3%	100%
庭木や生垣など住宅地の緑の豊かさ	12%	22%	50%	11%	1%	4%	100%
水辺や野山の生き物の豊かさ	10%	20%	45%	16%	4%	5%	100%
身近な広場や公園の充実	8%	23%	36%	21%	9%	3%	100%
自然に親しむ場所の充実	9%	21%	40%	20%	6%	4%	100%
歩道の安全・快適性	6%	28%	32%	21%	10%	3%	100%
まちなみの景観の美しさ	5%	20%	51%	15%	5%	4%	100%
自動車や工場等の騒音・振動の少なさ	12%	31%	38%	11%	5%	3%	100%
工場等からの悪臭の少なさ	22%	35%	32%	6%	1%	4%	100%
まちなかのごみ清掃の状況	12%	38%	32%	12%	3%	3%	100%
犬のフンの後始末マナー	4%	16%	46%	12%	9%	13%	100%
ごみのポイ捨ての少なさ	5%	19%	31%	29%	14%	2%	100%
地域の方のごみ出し状況	8%	22%	49%	6%	3%	13%	100%
社会活動・コミュニティの活発さ	3%	15%	60%	7%	2%	14%	100%

問2 あなたは、西脇市内で気候変動（猛暑や極端な集中豪雨など）の影響がいつから現れている  
[または今後現れる]とお考えですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてくだ  
さい。

80%以上の方が市内でも気候変動の影響が現れていると回答しており、5～10年前ごろからと回答されて  
いる方が、最も多く、全体の34%を占める。

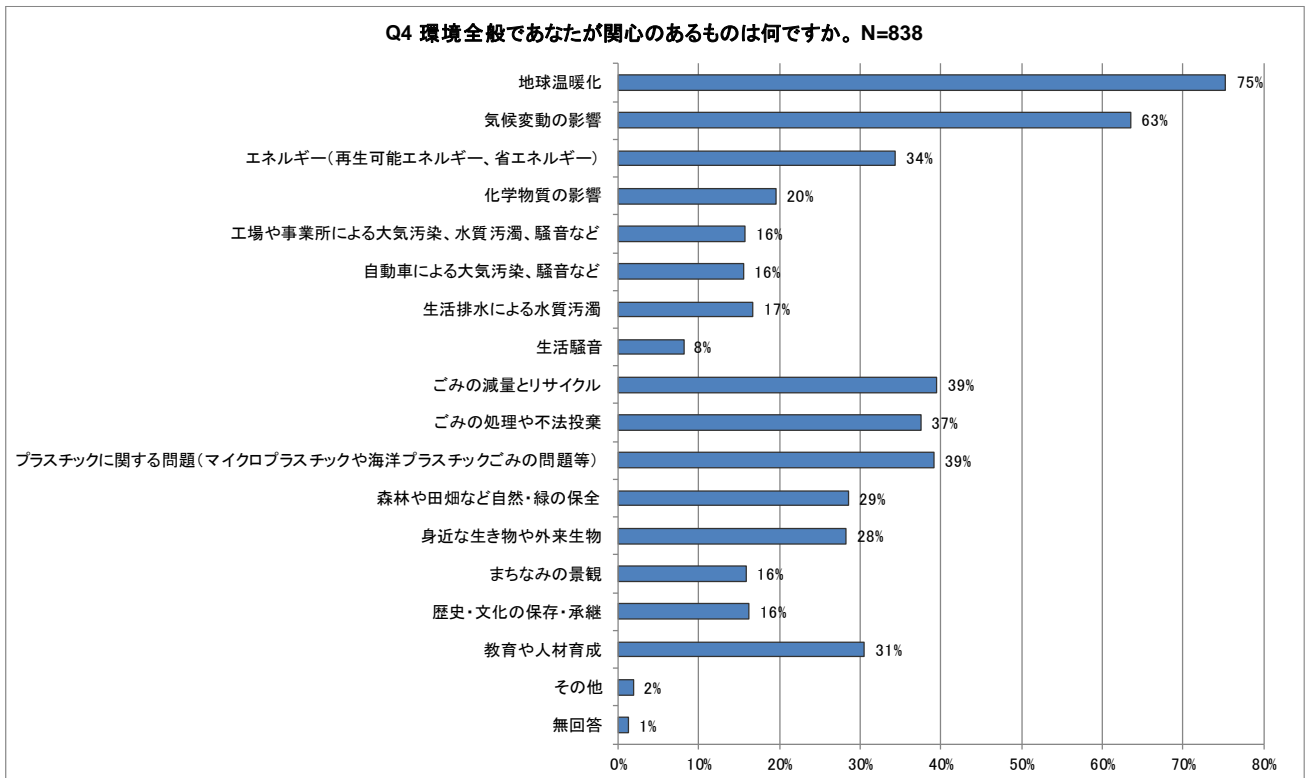
下記の具体的な事例については、一部ではあるが、猛暑等による暮らしの変化、地域の生物に関する変  
化、豪雨と河川水位が高くなることへの心配の声が挙げられている（詳細については、P21以降に掲載）。



(3) 環境に関するあなたの“関心”についてお聞きします

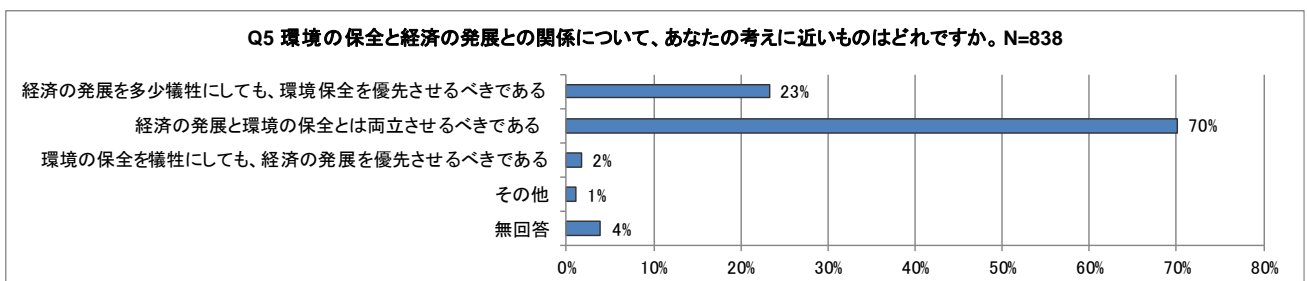
問4 環境全般であなたが関心のあるものは何ですか。関心のあるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

地球温暖化を占める割合が、75%と最も多く、次に、気候変動の影響が63%を占める。また、ごみの減量とリサイクル、プラスチックに関する問題、ごみの処理や不法投棄、エネルギー、教育や人材が関心を示す割合が30%を超えている状況である。



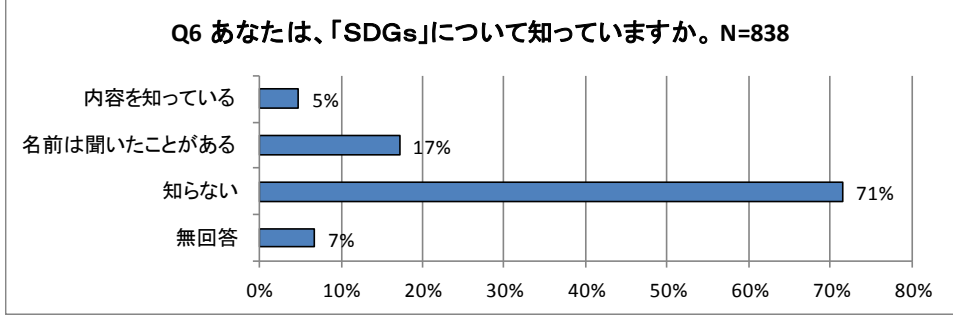
問5 環境の保全と経済の発展との関係について、あなたの考えに近いものはどれですか。あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

経済の発展と環境の保全とは両立させるべきである、と回答した方が最も多く全体の70%を占める。



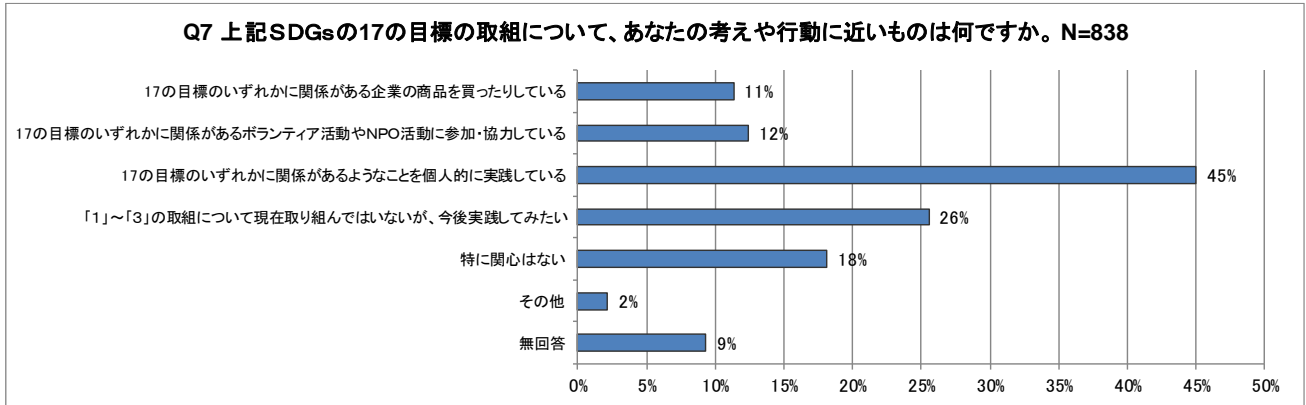
問6 あなたは、「SDGs（エスディージーズ）」について知っていますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

SDGsについて、知らないと回答した方が71%を占める。内容を知っていると回答した方は、5%に留まった。



問7 上記SDGsの17の目標の取組について、あなたの考えや行動に近いものをすべて選び番号に○を付けてください。

SDGsの認知度は低い状況であったが、17の目標のいずれかに関係があるようなことを個人的に実践しているは、45%を占める。また、今後、実践してみたいと回答する方も26%を占めた。



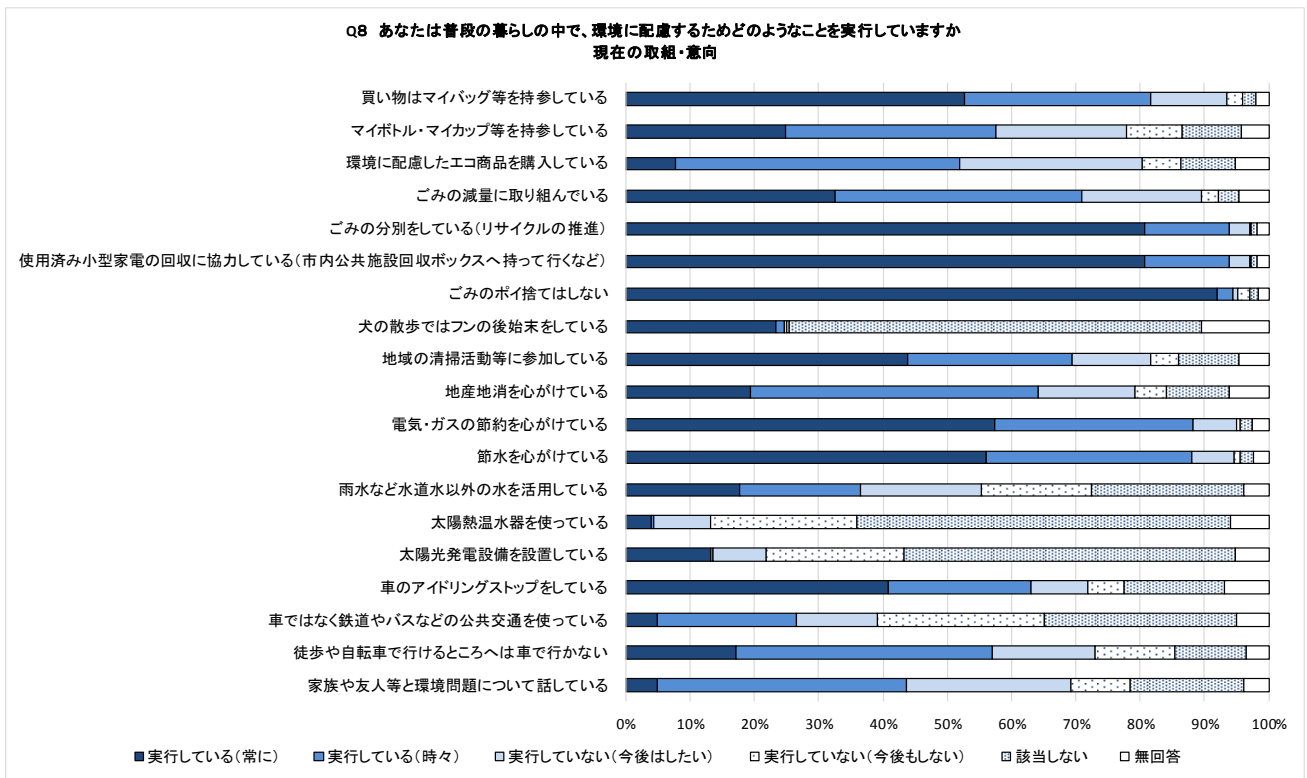
(4) 環境に関するあなたの“取組”についてお聞きします

問8 あなたは普段の暮らしの中で、環境に配慮するためどのようなことを実行していますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○を付けてください。

<現在の取組状況>

ごみのポイ捨てはしない、ごみの分別をしている(リサイクルの推進)、使用済み小型家電の回収に協力している(市内公共施設回収ボックスへ持って行くなど)、電気・ガスの節約を心がけている、節水を心がけている、買い物はマイバッグ等を持参しているについては、常に実行している、時々実行している割合が、全体の80%以上を占め、日々取り組みが浸透している様子がわかる。

なお、現在実施していないが今後したいという意向については、環境に配慮したエコ商品の購入や家族や友人等と環境問題について話をする、がやや他の項目をより高く、それぞれ28%、26%を占める。





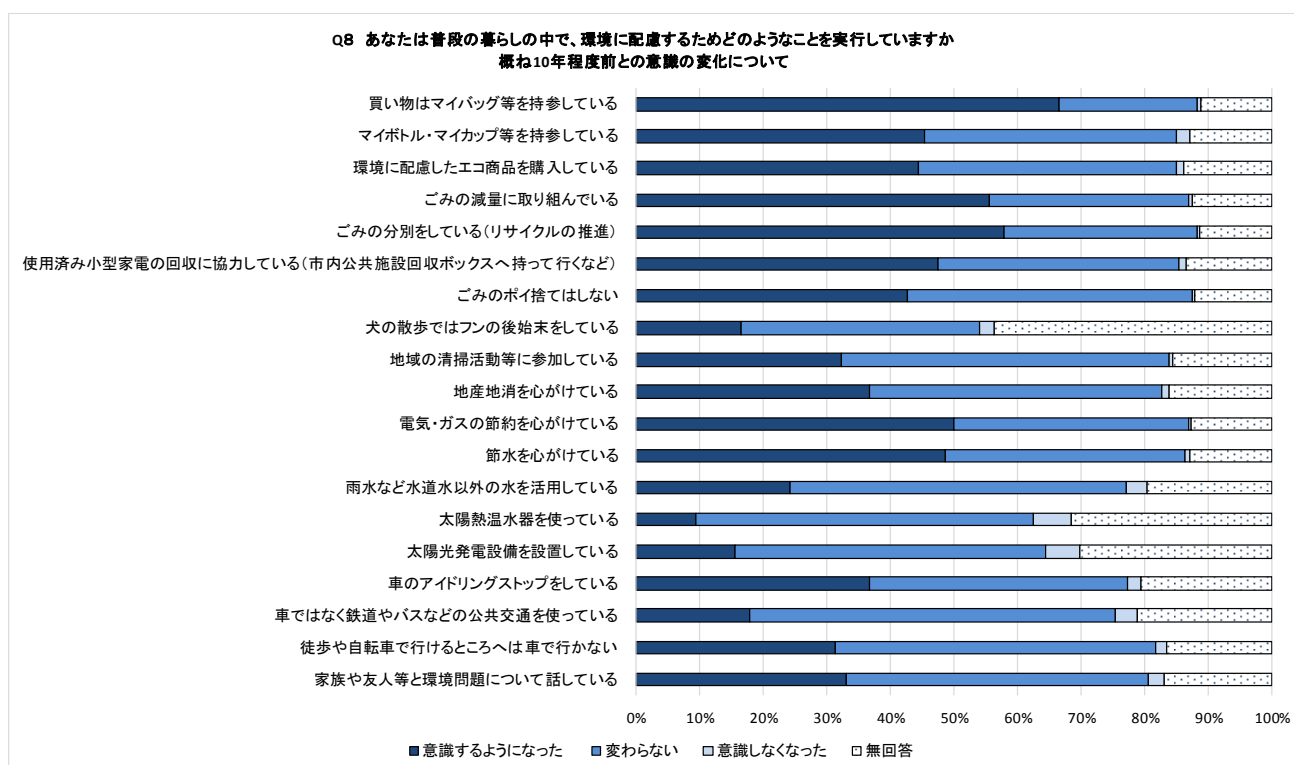
## <年齢と取り組み（買い物はマイバッグ等を持参している）のクロス>

50代以上は約半数以上が、常に実行していると回答しており、40代以下になると、常に実行していると回答する割合は低くなる。

	回答者数	実行している (常に)	実行している (時々)	実行して いない(今後は したい)	実行して いない(今後も しない)	該当しない	無回答
10代	30	23.3%	33.3%	33.3%	3.3%	6.7%	0.0%
20代	44	15.9%	40.9%	25.0%	9.1%	9.1%	0.0%
30代	79	36.7%	45.6%	7.6%	6.3%	3.8%	0.0%
40代	106	44.3%	39.6%	11.3%	2.8%	0.9%	0.9%
50代	148	53.4%	29.7%	9.5%	3.4%	3.4%	0.7%
60代	195	62.1%	26.2%	10.8%	0.5%	0.0%	0.5%
70代以上	233	64.4%	17.6%	10.7%	0.9%	1.3%	5.2%
無回答	3	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

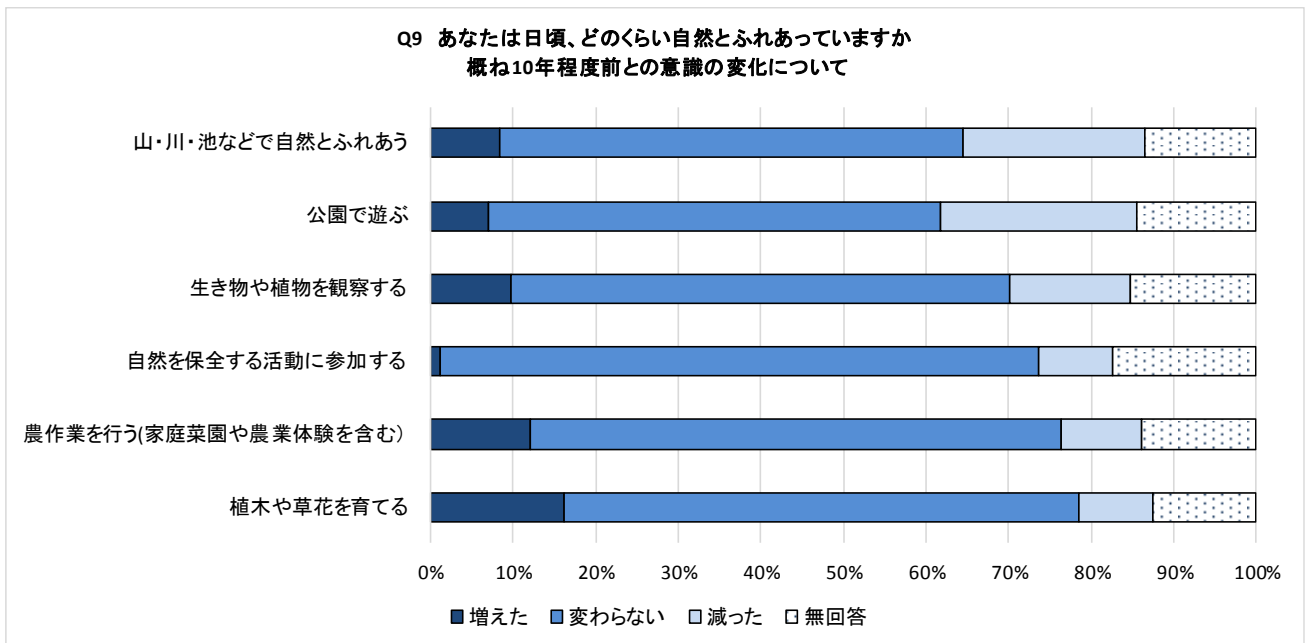
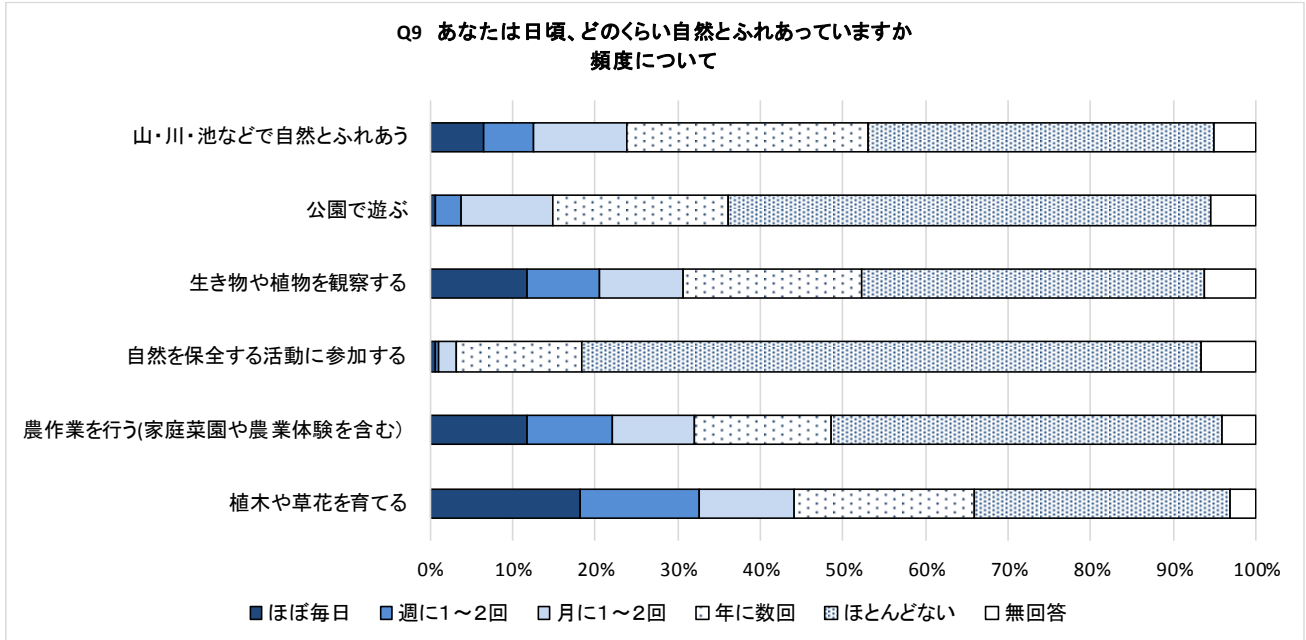
## <10年前との変化>

買い物のマイバック持参、ごみの分別・減量、電気・ガスの節約については、10年前より50%以上の方が意識をするようになってきている。



問9 あなたは日頃、どのくらい自然とふれあっていますか。現在の頻度及び以前との比較についてあてはまるものをそれぞれ1つずつ選び、番号に○を付けてください。

月1～2回までのふれあいを含めると、植木や草花を育てるが最も多く、全体の44%を占める。一方、山・川・池などで自然とふれあう、生き物や植物を観察するは、ほとんどないとの回答がそれぞれ全体の42%、41%を占め、自然とのふれあいが少ない現状が読み取れる。



### <年代と各取組のクロス>

20代以下が、それぞれほとんどないと回答する割合が50%以上を占める。

なお、30代においては、子育て世代であることも起因してか、公園で遊ぶ、生き物や植物を観察する取組について、ほとんどないと回答する割合は他の世代に比べ小さくなっている。

### Q17 あなたの年齢とQ9-1-1 山・川・池などで自然とふれあうとのクロス

	回答者数	ほぼ毎日	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	ほとんどない	無回答
10代	30	0.0%	3.3%	10.0%	33.3%	50.0%	3.3%
20代	44	4.5%	2.3%	4.5%	31.8%	56.8%	0.0%
30代	79	3.8%	1.3%	19.0%	31.6%	44.3%	0.0%
40代	106	2.8%	1.9%	12.3%	34.9%	48.1%	0.0%
50代	148	5.4%	4.7%	10.1%	33.1%	43.9%	2.7%
60代	195	5.6%	10.3%	10.3%	28.7%	42.1%	3.1%
70代以上	233	11.6%	7.7%	12.0%	22.7%	33.0%	12.9%
無回答	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%

### Q17 あなたの年齢とQ9-1-2 公園で遊ぶとのクロス

	回答者数	ほぼ毎日	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	ほとんどない	無回答
10代	30	0.0%	0.0%	10.0%	33.3%	56.7%	0.0%
20代	44	0.0%	2.3%	9.1%	13.6%	75.0%	0.0%
30代	79	2.5%	5.1%	35.4%	25.3%	31.6%	0.0%
40代	106	0.0%	3.8%	16.0%	26.4%	53.8%	0.0%
50代	148	0.0%	1.4%	3.4%	19.6%	73.0%	2.7%
60代	195	0.0%	1.5%	9.7%	21.0%	63.1%	4.6%
70代以上	233	1.7%	5.2%	7.3%	18.9%	53.6%	13.3%
無回答	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%

### Q17 あなたの年齢とQ9-1-3 生き物や植物を観察するとのクロス

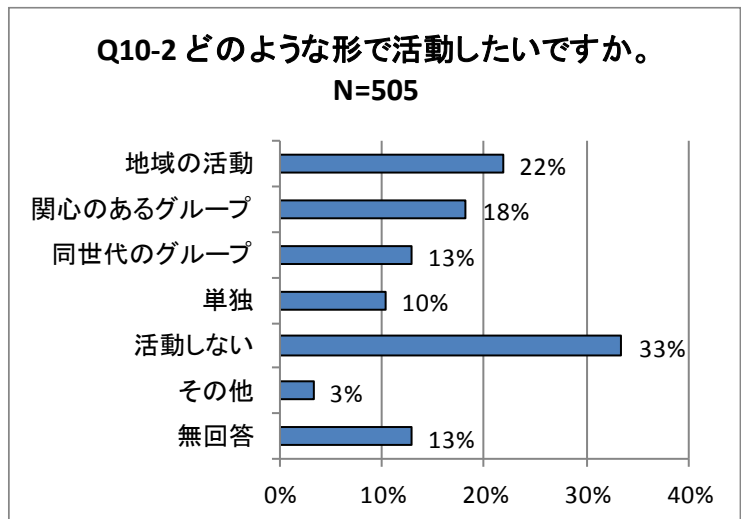
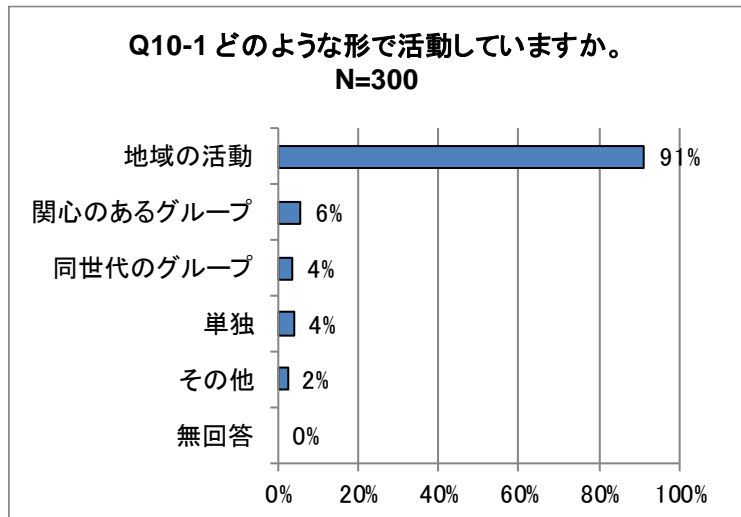
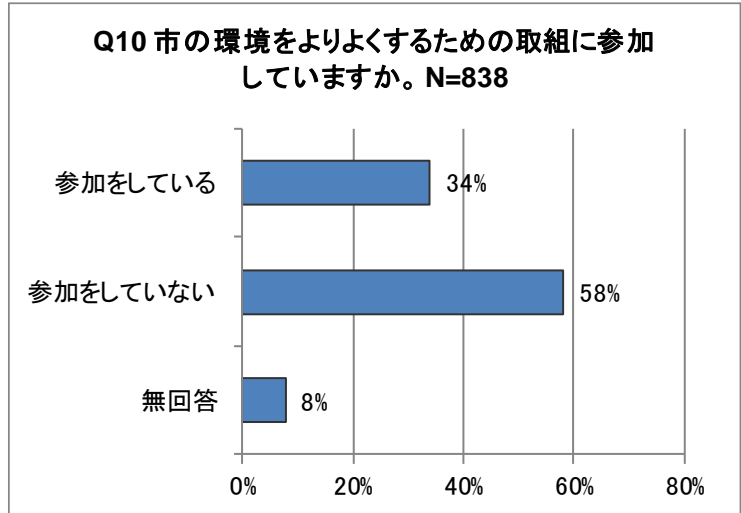
	回答者数	ほぼ毎日	週に1~2回	月に1~2回	年に数回	ほとんどない	無回答
10代	30	0.0%	16.7%	10.0%	20.0%	53.3%	0.0%
20代	44	2.3%	4.5%	9.1%	20.5%	63.6%	0.0%
30代	79	6.3%	11.4%	12.7%	34.2%	35.4%	0.0%
40代	106	6.6%	6.6%	10.4%	29.2%	47.2%	0.0%
50代	148	12.8%	6.8%	12.8%	24.3%	39.9%	3.4%
60代	195	14.4%	12.8%	11.3%	16.9%	40.5%	4.1%
70代以上	233	15.9%	6.4%	6.9%	17.2%	37.3%	16.3%
無回答	3	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%

問 10 あなたは、市の環境をよりよくするための取組に参加していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。また、どのような形で活動していますか。または、活動したいですか。あてはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

環境をよりよくする取組に参加している方は、全体の34%を占め、参加していないと回答された方は58%であった。

また、参加されている方の91%は、地域の活動に参加していることが分かった。

また、参加していない方の希望する活動形態については、22%が地域の活動と回答し、次に、関心のあるグループ、同年代のグループと続く。



年代別の回答結果を以下に示す。

取組への参加状況について、年齢が下がるほど参加している率は低くなり、特に、50代以上とそれ以下の取組状況に大きな差がある。

一方、どのような形で活動したいかという問いについて、20代の50%が参加しないとの回答をし、他の世代では、約27%から35%となる。

また、活動したい形態については、10代は、地域の活動、同年代のグループが他の活動形態に比べて多い。30代は、関心のあるグループとの回答が30%を占め、次に地域の活動、同年代のグループとなる。40代は地域の活動、関心のあるグループが同程度の割合を占める。50代については、関心のあるグループが占める割合がやや高く、次に、地域の活動が続く。

**Q17 あなたの年齢とQ10 あなたの年齢と市環境をよりよくするための取組に参加していますか。とのクロス**

	回答者数	参加をしている	参加をしていない	無回答
10代	30	13.3%	86.7%	0.0%
20代	44	6.8%	88.6%	4.5%
30代	79	19.0%	81.0%	0.0%
40代	106	28.3%	70.8%	0.9%
50代	148	41.2%	57.4%	1.4%
60代	195	40.5%	49.2%	10.3%
70代以上	233	39.9%	43.8%	16.3%
無回答	3	0.0%	0.0%	100.0%

**Q17 あなたの年齢とQ10-1 どのような形で活動していますか。とのクロス**

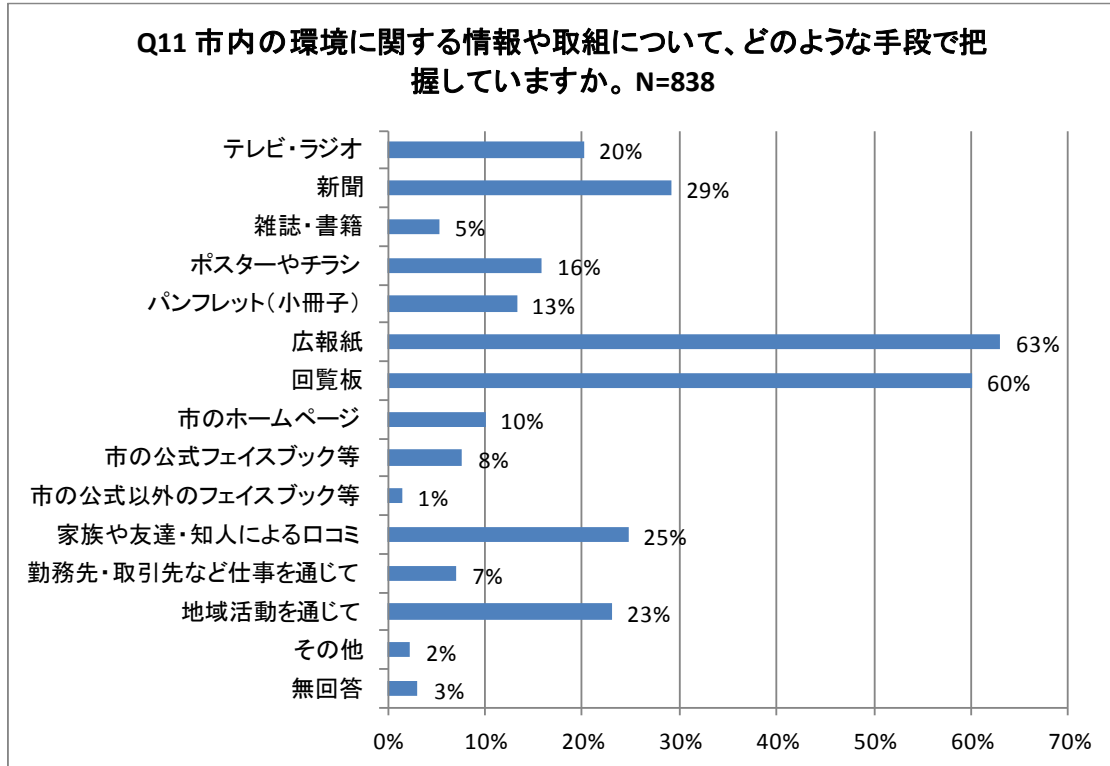
	回答者数	地域の活動	関心のあるグループ	同世代のグループ	単独	その他	無回答
10代	4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20代	4	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30代	15	86.7%	0.0%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%
40代	30	96.7%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50代	62	96.8%	4.8%	1.6%	0.0%	3.2%	0.0%
60代	86	91.9%	3.5%	2.3%	4.7%	1.2%	0.0%
70代以上	98	84.7%	10.2%	6.1%	7.1%	3.1%	0.0%
無回答	1	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

**Q17 あなたの年齢とQ10-2 どのような形で活動したいですか。とのクロス**

	回答者数	地域の活動	関心のあるグループ	同世代のグループ	単独	活動しない	その他	無回答
10代	26	30.8%	11.5%	26.9%	3.8%	30.8%	0.0%	3.8%
20代	39	10.3%	17.9%	17.9%	12.8%	51.3%	0.0%	2.6%
30代	64	21.9%	31.3%	20.3%	10.9%	32.8%	3.1%	4.7%
40代	75	21.3%	21.3%	9.3%	9.3%	26.7%	1.3%	13.3%
50代	89	18.0%	23.6%	5.6%	9.0%	34.8%	5.6%	15.7%
60代	101	24.8%	15.8%	14.9%	11.9%	30.7%	6.9%	12.9%
70代以上	111	24.3%	8.1%	9.9%	10.8%	34.2%	1.8%	20.7%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 11 市内の環境に関する情報や取組について、どのような手段で把握していますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

市内の環境に関する情報や取り組みについては、広報紙での把握が最も多く63%を占め、次に回覧板が60%となった。なお、世代別にみても、広報紙が占める割合は高い。



Q17 あなたの年齢とQ11 市内の環境に関する情報や取組について、どのような手段で把握していますか。とのクロス

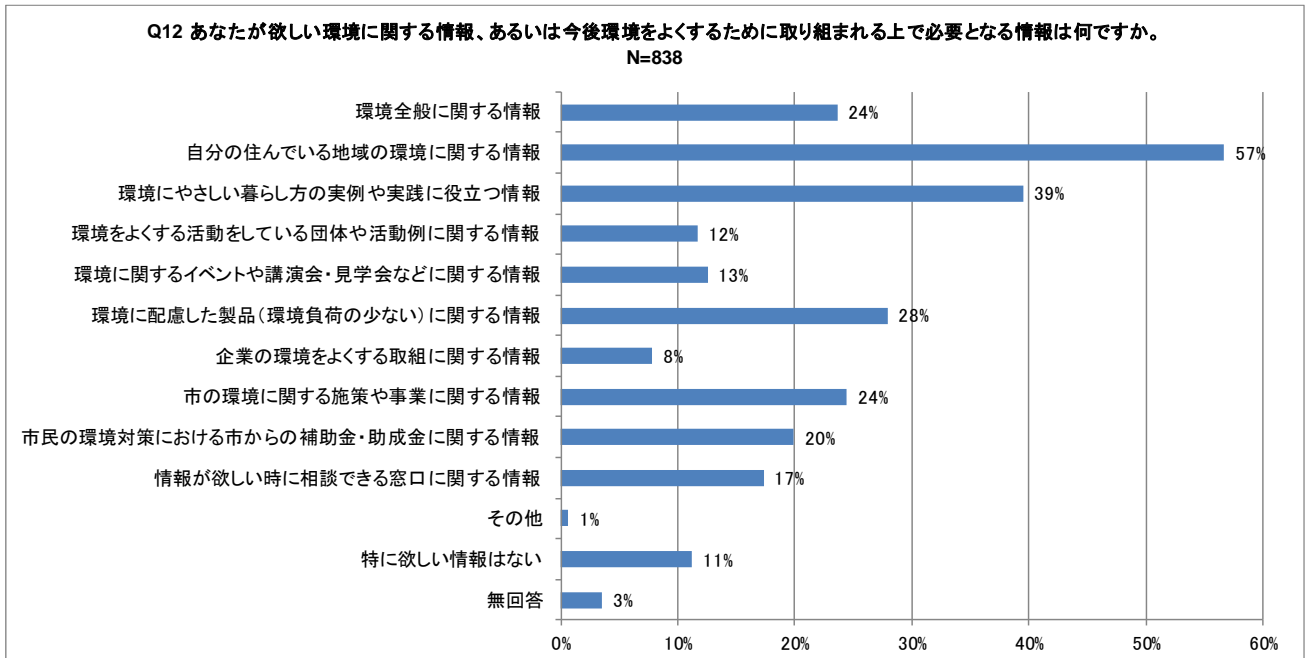
	回答者数	テレビ・ラジオ	新聞	雑誌・書籍	ポスターやチラシ	パンフレット(小冊子)	広報紙	回覧板
10代	30	23.3%	36.7%	13.3%	20.0%	13.3%	43.3%	33.3%
20代	44	15.9%	15.9%	0.0%	15.9%	6.8%	50.0%	34.1%
30代	79	15.2%	11.4%	5.1%	15.2%	10.1%	59.5%	36.7%
40代	106	18.9%	20.8%	0.0%	11.3%	7.5%	72.6%	52.8%
50代	148	18.2%	29.1%	8.1%	12.2%	8.8%	68.2%	54.7%
60代	195	21.0%	34.9%	7.2%	16.4%	17.9%	67.2%	70.3%
70代以上	233	23.6%	35.6%	4.3%	19.7%	16.7%	58.4%	74.7%
無回答	3	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%

	回答者数	市のホームページ	市の公式フェイスブック等	市の公式以外のフェイスブック等	家族や友達・知人による口コミ	勤務先・取引先など仕事を通じて	地域活動を通じて	その他	無回答
10代	30	6.7%	0.0%	0.0%	36.7%	0.0%	6.7%	10.0%	3.3%
20代	44	9.1%	2.3%	0.0%	22.7%	11.4%	2.3%	2.3%	4.5%
30代	79	7.6%	10.1%	1.3%	26.6%	11.4%	10.1%	3.8%	5.1%
40代	106	12.3%	5.7%	1.9%	17.9%	10.4%	17.9%	4.7%	1.9%
50代	148	10.1%	7.4%	2.0%	23.6%	10.1%	25.7%	1.4%	1.4%
60代	195	10.3%	8.2%	1.0%	21.0%	5.1%	31.3%	2.1%	1.0%
70代以上	233	10.3%	9.4%	1.7%	30.0%	3.9%	27.5%	0.4%	4.7%
無回答	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%

(30%代以上を網掛け)

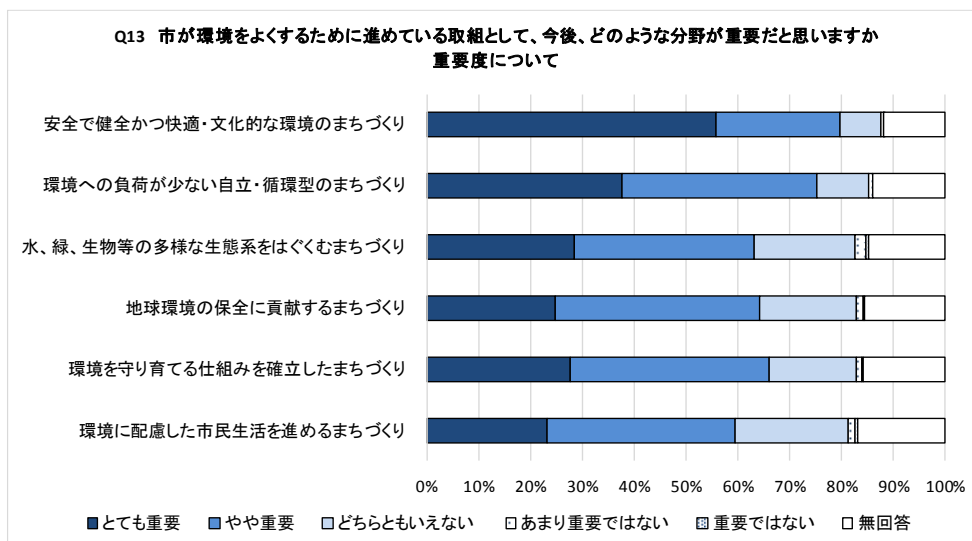
問 12 あなたが欲しい環境に関する情報、あるいは今後環境をよくするために取り組まれる上で必要となる情報は何か。あてはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

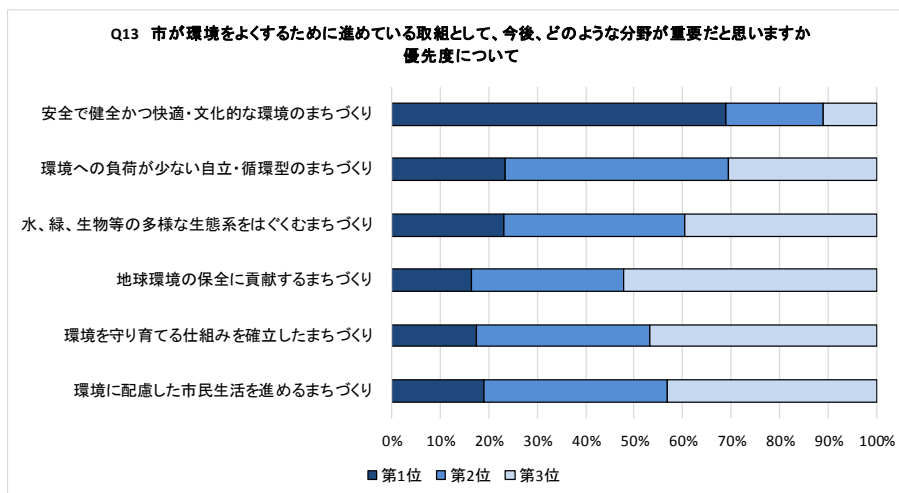
必要となる情報としては、自分の住んでいる地域の環境に関する情報が最も多く全体の 57%を占め、次に環境にやさしい暮らし方の実例や実践に役立つ情報が続く。



問 13 市が環境をよくするために進めている取組として、今後、どのような分野が重要だと思いますか。あてはまるものを1つずつ選び、番号に○を付けてください。また、特に優先度が高いと思うものについて、1位～3位まで順位を記入してください。

重要だと思う分野については、安全で健全かつ快適・文化的な環境のまちづくりが最も多く、次に、環境への負荷が少ない自立・循環型のまちづくりが続く。順位についても、安全で健全かつ快適・文化的な環境のまちづくりを1位とした方が多く、他の分野を1位とした割合は概ね同じ割合であった。

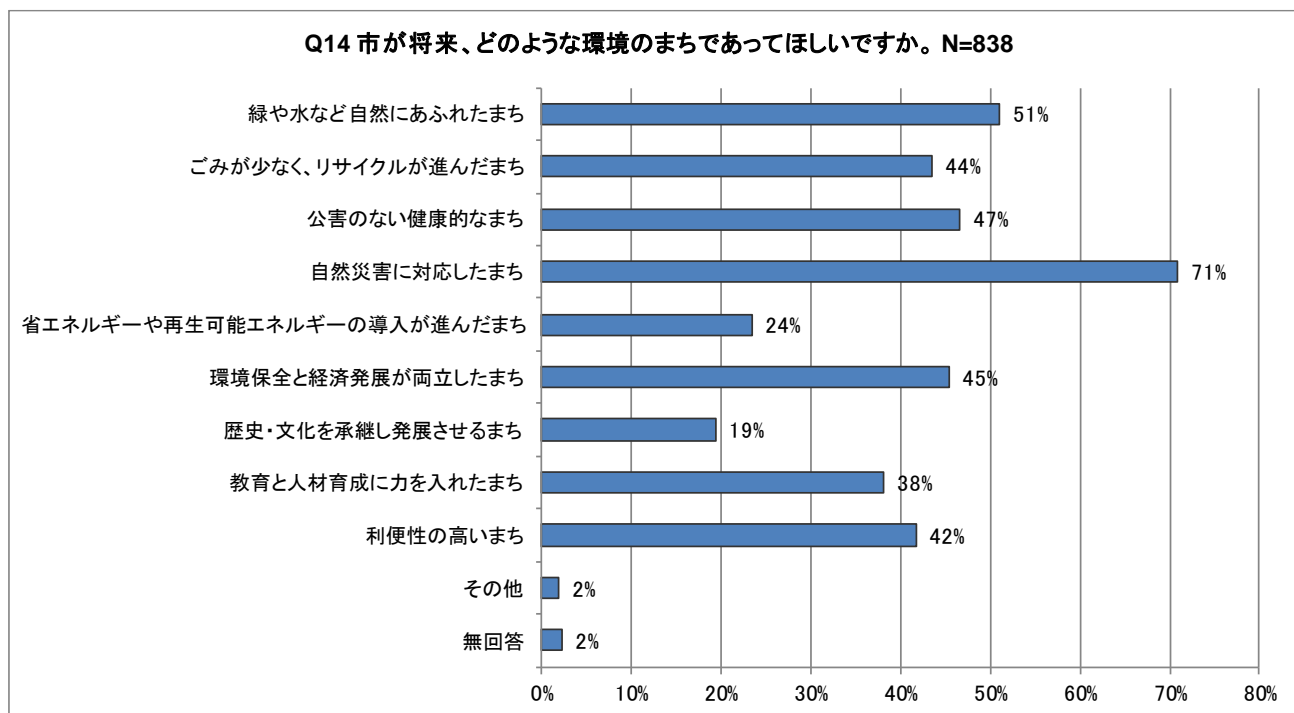




(5) 市の環境に関する今後の取組についてお聞きします

問 14 市が将来、どのような環境のまちであってほしいですか。考えに近いものをすべて選び、番号に○を付けてください。

自然災害に対応したまちが最も多く全体の71%を占め、次に、緑や水など自然にあふれたまち、公害のない健康的なまち、環境保全と経済発展が両立したまち、ごみが少なくリサイクルが進んだまちが続く。





問 15 あなたが大切にしたい市内の自然や残しておきたい場所や風景はなんですか。1つお答えください。 例：(〇〇公園) (△△の森) (□□川)

加古川等の川、へそ公園、童子山公園などの固有名詞の他、山と川のバランスなど複合的な自然景観について多く挙げられた。

<以下抜粋>

- (今は無き茜ヶ丘の自然)、住吉の山
- 3つの川
- JR 駅
- JR だけは残してほしい。自然だけでは生きていけない。
- JR 比延駅
- 茜が丘複合施設みらいえにおける、「幅広い年代の子供たちが楽しく遊んでいたり将来にむけて努力している姿」を残しておきたい風景として挙げておきます
- 茜ヶ丘公園及びその周辺
- 秋谷公園
- 秋益公園
- あまり自然に手を入れないようにしてほしいと思います。今ある公園や川
- 家の近くの山
- 市原森林公園
- 市原町の森林公園、富吉のふれあい広場
- 稲や麦、大豆が四季折々に色づいた田園
- ウォーキング等、気軽に行ける西林寺公園(理想は播中公園)
- うつくしい杉原川にしてください
- 大池(西高近くの池)
- 丘の山
- 岡の山公園 他
- 加、杉、野、川とその支流。童子山公園、へそ公園
- 街路樹が枯れてしまっている(木の切りすぎ、剪定べた)
- 各公園などの桜の木
- 各集落のため池や川、田畑(農地)や周囲の山々の緑
- 各村のお宮さん
- 加古川
- 加古川、大伏辺りの加古川の風景はとても美しいと思います。写真を撮りたいと思うのですが、車をとめるところがなくいつも通り過ぎてしまうので残念に思います。
- 加古川、杉原川
- 加古川、杉原川、野間川
- 加古川、杉原川、野間川の水質と周辺
- 加古川、フォルクスガーデン
- 加古川、門柳川
- 加古川が汚染している。分析公表。
- 加古川河川
- 加古川流域と周辺山々の風景(175号線整備による影響)
- 加古川流域の景観
- 春日神社
- 春日神社まわりの風景
- 加杉野川
- カルチャーセンターのふん水がなくなってしまう、残念です
- 河、川、小川、透明な水
- 川が汚い、整備が必要、ひどいと思う
- 川すべて
- かわせみ
- 川のごみをなくす
- 川の両岸の整理。散歩または釣りの自由と安全
- 河原の景観
- 喜多天満宮
- 木谷山
- 木森
- キャンプ場(町内池)

- キャンプ場(門柳)
- 旧市原駅周辺と杉原川堤防の桜並木あと何本か増やしてもいいと思います。
- きれいな星空
- 近所の山々が原点
- 黒田官兵衛ゆかりの寺、荘厳寺
- 黒田庄に住んでいるので、自分のまわりの山の自然(生態調査、山の調査他)
- 黒田城跡、加古川河川敷
- 県道中町～黒田庄線の桜街道
- 県の仕事かも、杉原川、大川の岩滝の石の山
- 公園
- 郷瀬一本桜
- 高田井町の松岡神社、春日神社～矢はずの山
- 合山町を流れる川
- 国道 175 号線上戸田南信号辺りから南に見える山(新緑、モミジ時共美しい)
- 子重公園
- 子供、赤ちゃんが集まれる場所(みらいえ、あいあいランド等)は大切にに残しておきたいです。
- 子供達が安心して遊びに行けるもっと明るい童子山公園
- ゴミのないへそ公園
- 西林寺、鍛冶屋線記念館
- 西林寺公園
- 魚の住める小川を残してほしい
- 桜丘小学校
- 桜の木が多くあるといい
- 桜の名所
- 山菜がとれる場所
- 三本の川(野間川、杉原川、加古川)
- 鹿の町、小西亀、大桶の木
- 重春小学校にある森みたいなどころ
- 重春幼稚園のしばざくら(あの園庭や前山はほかの園にはない魅力)矢筈山
- 自然公園
- 自然ではないが、歴史的建造物
- 自然な河川の流れ
- 自然に残っている山や木など
- 自然森
- 市内全ての山(太陽光パネル×)
- 市内全域の山
- 市内にある川や池や山を大切に。子供にもっと公園を(体験などできたらなお OK)
- 市内の加古川の石投げができるところ
- 市内の川のアシの駆除
- 市内の自然すべて
- 市内の山川
- 市内を流れる3つの川の保全
- 市内を流れる川のすべての川辺が美しい風景を大切に
- 市は色々と人や環境に全力をつくしています。各個人一人一人が変わる事
- 自分の学んだ小学校(日野小)
- 地元の里山で子供が遊べること、人工的な護岸工事でなく、竹藪や草木が生い茂る川岸
- 神社
- 神社やお寺等
- 森林
- 杉原川(新豊川橋よりも北側)
- 杉原川(昔の様に魚がたくさんいる川に)
- 杉原川、加古川、童子山
- 杉原川、加古川、野間川の河川
- 杉原川、矢筈山、童子山、へそ公園、西林寺
- 杉原川に流れ込む水路がコンクリートで固められ、魚が(ザリガニ、ドンコ等)住める寛容がなくなってしまった。昔のようにたくさんの魚が遡上する(産卵のため)姿がまったく見られない
- 杉原川のゴミがなくなる自然風景、年に一度でも拾い取る。美しい川を望む。
- 杉原川の清流と整備された遊歩道
- 杉原川の童子山公園
- 杉原川の保全
- 杉原川や野間川をはじめとした清流
- すべて
- すべての道の駅、町の駅です。

- すべての山
- すべての山(緑)
- 澄み切った山水
- 澄んだきれいな川
- 西林寺の西脇公園
- 荘厳寺
- 童子山公園
- 高田井町の矢筈山(明石大橋が見える風景、元旦の朝光がのぼる風景)
- 田畑
- 地域の山の保全
- 長明寺と高松山
- 通学路横の林や森
- 鉄道
- テラドーム
- テレビ塔の山の雑木林
- 田園風景
- 田園風景と里山
- 天神池
- 童子山、西林寺を代表とする桜
- 童子山、夫婦桜、来住邸、竹のこ
- 童子山。春の桜。
- 特定の場所はないが緑が減ってきている
- 特にない
- 中畑町のホタル
- なくなってしまったが、織物工場の物の校舎で、授業を受けた教室跡。
- 並木道
- 西林寺
- 西光山
- 西脇公園
- 西脇市内の各川(小川含む)の整備、美しい水の流れ
- 西脇市内の自然全般
- 西脇市民会館(現在の建物です)市民会館としての運用が終わっても民間等で活用して欲しいです。市内に1ヵ所も映画館がないので、映画館になったら嬉しいです！
- 西脇小学校
- 西脇小学校
- にしわき地球科学館(テラ・ドーム)
- 西脇地区の山林
- 西脇西林寺公園
- 西脇八幡神社周辺の環境、市立西脇病院周辺
- 日時計の丘公園
- 日本へそ公園
- 残しておきたいものが思いつかない。箱物ばかり作って、後のことができていない。
- 野間川、杉原川、河川の遊歩道
- 野間川周辺の自然(八坂町東側の湿地帯)
- 野間川にカワセミやヤマセミがいる状態
- 野村公園、加古川
- 野村公園の桜
- のむらの森、野間川
- 野村町の加古川河川敷
- 萩が瀬の公園
- 萩瀬公園。子供たちが楽しそうに遊んでいる風景
- 白山(黒田庄)
- 畑谷川のホタル
- 畑谷川の蛍を鑑賞できる景観
- 八幡神社
- 羽安駅跡
- はりま中央公園
- 比延町、へそ公園
- 日時計の丘公園
- 日野川のホタル近年沢山とんでいて楽しみですが、工事などでいなくなるのでは、と心配です。杉原川の岩滝
- 兵主神社
- フォルクスガーデン
- 双葉小学校周辺のホタルと星空
- 兵主神社
- へそ公園
- 別の事ですが、私の町には議員様いません。工場跡が草生え放題で市役所に頼んでも対応し

て戴けません。やはり、議員様に尋ねないと(頼まない)駄目なのですか。

- ほうらい橋からの川の景色が好きです
- ほうらい橋の川、鳥
- ホタルが生息する川
- ほたるが飛び交う野間川
- 蛍の群生が見られる川
- ホタル発生する場所
- 墓地
- 緑
- 緑がありすぎるので、切ってそこに何か作ってほしい
- 緑豊かに広がる田園風景
- みやま
- みらいえ
- ミライエ周辺の学園地区。優れた学習地域
- みらいえ、杉原川、童子山、野村公園
- モウセンゴケが自生していた頃の山麓
- 森
- 門柳川
- 門柳の大池
- 門柳山
- 矢筈山からの景観
- 矢筈山の森
- 山、公園
- 山川の自然と公園
- 山と川のバランス
- 山の緑と水源
- 八日山、テレビ塔
- 芳田、野間川ぞいの桜並木
- 芳田を流れる野間川と周囲の景観
- 来住邸
- 歴史ある神社等、すみません。1つえらぶのはむずかしいです。
- 六所神社のふじ
- 和田谷川の蛍
- 比延町の城山
- 野村公園
- 野村川八坂神社

## 問2 西脇市内で気候変動（猛暑や極端な集中豪雨など）の影響を感じている事例（抜粋）

- 雨が大量に降ると川の水位が非常に高くなり、その時間も短くなっていて毎回ひやひやする。
- 雨が降った時の降り方が激しい、暖冬、10年程前までは必ず年内に一度は雪が降っていた。
- 雨が降り(台風等)川の水が増し避難しないといけない状況、台風等の強風で森林(山)の杉の木が倒れ昔の風景が無くなった。
- 雨の降り方が変わった。集中豪雨のひどさ。山で処理できない量なのか今まで浸かったことのない場所で浸水した。
- 雨の降り方がスコールのようになった、暖冬、秋がないまま冬になったり、春が短くて初夏が来たりする。
- 雨の降り方により鉄砲水が多くなった。燕がとても少ない年があった。去年はちょっと戻ってきました。
- 雨の量が少ない。小さな川や池などで水の流れが悪くなり苔や悪臭が気になる。集中豪雨や台風での家や畑、田んぼへの影響が激しくなった。
- 雨の量が増した様を感じる・気温の上昇が見られる・気候条件が年々悪くなっていると感じる。
- 現れているのかも知れないが、気候なんかはこんなもんだらうと諦めている。
- 生き物がいない。小さくなった。
- 池に氷が張ったり、霜柱が立つのを見かけなくなった。
- 池に氷がはってよく遊んでいたのに、もうそんなことはなくなってしまった。
- 池に魚がいない。
- 池に藻が増え、水が汚くなった。
- 以前はお盆を過ぎると朝夕涼しかったが、9月下旬まで暑い。暑い季節が長いせいかわ秋の季節が短く感じる。最近鹿が庭木の新芽とか野菜を植えていると新芽を食べに山から下りてくる。以前はなかった。
- 一度に降る雨の量が増えた。雀の数が減った。
- 一年を通じて気温が高くなり、特に夏は暑すぎる。降雪も少なくなってきた。過ごしやすい季節が短い。
- 稲に高温障害があり生育異常がある。夏、草刈り作業など以上に暑いので、熱中症になりかかる。春5月初めでも猛暑日がある。家の横を流れる用水路で以前は蛍が飛んだが10年くらい前からほとんど見ない。
- エアコンなしでは暮らせない日が増えた。
- 大雨が増え、自主避難が増えてきた。
- 大雨警報が以前に比べて増えているように思う。
- 大雨となったとき田高～船町の堤防で水がふきでていた。
- 快晴の日は日差しがきつすぎる。夏場の快晴は危険。大雨が増えた。
- 外来種のタンポポが多くなった。
- 蛙がいなくなった、少ない。かたつむりを見なくなった。てんとう虫をあまり見ない。たんぽぽもあまり見なくなった。
- 蚊が増えた。
- 加古川の水位が高いときの不安が増えた。
- 風の強い時が多くなった。
- 河川が近いので、台風や集中豪雨の時等、常に川の水、堤防が心配
- 河川の決壊が少しあるように思われます。黒田庄でありました。
- 河川の氾濫、雨が多い、猛暑日が増えた、害虫が増えた。

- 学校に行く時、年々冬でも暖かいこと t
- 学校のプールの際に、小学校の時より暑いと感じることが多くなった。
- かつてない猛暑日が 2018 年にあった。ゲリラ集中豪雨で畑が浸水し作物ができなかった。
- カメ虫が冬でも見られるようになった。
- 体に耐えられない暑さが増えた。雨が集中するようになった。反対に乾燥が続き竹林が枯れるところがあった。
- 川底工事により魚の生態系が変わった。川辺で涼をとれる場所が減った。
- 川の水が度々、堤防のギリギリまで水位が上がって来る。
- 川の水が増えたのが、ひどくなった。
- 川辺の生き物が増えているようで、外灯が少ないので草むらなどから音がすると何がいるかわからない。
- 寒暖の差が大きくなったように思う。
- 気温が高い日が多くなった。夏が終わっても蝉が鳴いていることがある。季節に咲かない花が咲く。
- 季節の移り変わりがはっきり感じられない、黄砂、花粉飛散の増加、熱さ寒さが極端な日の増加、夜間、昼間にも動物(鹿など)が住宅地にやってくるのが増えた。
- 季節のメリハリがなくなってきている。
- 極端に暑い日、寒い日が多くなった。
- 極端に暑く感じる夏日が増えた。
- 去年、夏にわか雨が少なかった。猛暑日が増えた。
- 去年の夏は特に暑かった。冬に雪があまり降らなくなった。
- 近所の水路で蛍が見られた。
- 近辺の小川等や他に魚、虫、貝などの種類が少なくなってしまった。動植物の外来種増加。
- クーラーの使用量が増えた。
- クーラーをつけないと過ごせない日が増えた。
- 熊ゼミがうるさい。
- ゲリラ豪雨が増えて山からの水量が増え、小さな幅の溝に山の葉が多く流れ込み詰まって困る。
- ゲリラ豪雨など。以前はそのような現象で学校等のお迎えも特になかったので
- ゲリラ豪雨により年々用水路の水位が上昇していて心配です。また最近特に蛇を家のまわりで見なくなった。
- ゲリラ豪風、台風の勢力大、暖冬
- コイ、フナ、モロコ、メダカなど川魚が少なくなった。冬、雪が降らなくなった。
- 豪雨が多くなった。猛暑日が増えた。
- 豪雨災害、猛暑
- 豪雨時の杉原川の増水による危険度が高まってきたように思う。
- 豪雨によって川の水位が上がり避難指示が出た。
- 豪雨の際に溝など溢れることがある。
- 降雨量により杉原川の状況が大変に気なる。
- 公園近くに住んでいるが、四季折々の草木鳥等の生態が少しずつ変化してきているように感じる。
- 洪水の心配が増えた。
- 降雪の量が少なくなった。
- 氷が張らない。

- 酷暑と言えるほどの暑さです。夏を越すのが苦痛に思えます。
- ここ2, 3年、ツクツクハウシが鳴かなくなった。
- 今年の冬の異常な程の暖かさ。梅雨時の豪雨。
- 今年の冬は雪も降らず暖かすぎて水不足が心配です。
- 今年は特に冬が暖かい、雨が多くなった。
- 子供の頃には見た事のない植物(草等)が増していて、対候性のある植物も河原で見られる。
- 子供の頃はエアコンなしでも夏を過ごせていたが、今は考えられない。
- 米の白米が多い・四季の変化が少ない(春→夏傾向)→気温が高い。
- コンクリート、アスファルト道路等で自然地が少なくなった。夏に蟬が多くなった。
- 昆虫が少なくなった。
- 金平さんの時期に雪が降っていた。秋祭りの頃、コートを着ていた。
- 災害が増えたから
- 最近は春と秋が少なくなって四季がくずれ二季になっている。夏は5月～9月が暑い。冬は雪が降らない。
- 昨年、川で蛍が見られなかった、門柳川中流
- 作物の生育に変化。収穫が減少。野生動物が作物をあらす。
- 桜、つつじの花が咲く月日が替わった。
- 残暑がなくなった。
- 鹿、猪の被害はますます増えるだろう。休耕田(雑草)や農耕地アゼの草刈り放置許せない。
- 鹿、熊が出没しなくなった(見る事がなくなったように思う)。
- 鹿、タヌキのフンが多い。
- 鹿が多い。草切する様に指導して下さい。下水の無い昔の所がある、食堂でありながら
- 鹿が畑まで下りてくるようになった。
- 鹿が山から多数出て来る様になった、田んぼにカブトエビがいなくなった。
- 鹿や猪が多くなってきた。
- 四季が顕著に表れなくなり、季節外れの草花が咲くようになった。
- 四季そのものをあまり感じなくなった。雀も見なくなったように思う。
- 四季を感じられる気候の時期がほとんどなくなった。特に夏場のゲリラ豪雨など気象の急な変化が増えた。
- 四季を通じて暑い日が多くなった。夏に寺、公園などで蟬が少なくなった。
- 自然が失われた、例えば植物、昆虫等が失われた。
- 市内全体で見れば降水があっても地区によって降雨量が極端に増えたり、逆に極端に減ったりしている。特に夏場、雨が降らず井戸水が出にくくなった。
- 霜が下りにくくなった。
- 集中豪雨等で野間川の危険水位が多くなった。
- 集中豪雨等の様な自然災害は比較的少ないが、夏の猛暑日が増え続けている。
- 集中豪雨などで小規模の鉄砲水で山の崖がよく崩れる。夏はトカゲの異常発生が見られる。
- 集中豪雨などによる水害。猛暑日が増えた。市の北にある工場の廃水。風向きによって流れてくるパルプ工場の臭いが気になります。加古川の水質も。
- 正月の気温が高かった。

- シラサギが少なくなった、雀も数年見た事がない。
- 森林が枯れる。蚊が少なくなった。庭木が枯れる。3～40年前には35度以上がなかったと思う。
- 数年前より異常な暑さ(夏)と異常なほどの集中豪雨が見られるようになった。
- 杉原川、川底が上がり、水位が上がりやすい感じ
- 雀がいなくなったと思います。川に魚が凄く減っている。
- 雀の数が減った。カラスが増えた。アライグマや、亀、池の魚の外来種の増加、被害が増えた。街路樹の枯れ方がひどい。
- 雀を見なくなった。空き地のカラス豆や露草、イヌフグリなど季節の草花が随分減った。冬の朝氷が張らなくなった。
- 蝉の種類が変わった・魚がいなくなった(川魚)。
- 蝉の種類が少なくなった。鳴く時期が変わってきた。
- 蝉の鳴く時期がずれた。
- 台風、長雨で極端に川の水位が上がる。
- 台風23号の集中豪雨、積雪がなくなった。
- 台風が大型になってきた。一昨年ですが、三度避難しました。田畑を猪等に荒らされたと聞きます、これも異常気象の影響？
- 台風ではないのに風が強く吹くようになった。
- 台風による洪水で床下、床上浸水による被害にあった。
- 太陽の角度が昔と違う。冬眠しているはずの動物が冬場でも出ている。
- 田植えの時期によく大きいタニシが異常繁殖しているのを見かけます。
- 田畑の草刈り、空き家の・・・
- 短時間で河川の川が危険な状態になることが増えた。
- 短時間での集中豪雨が増えたように思う。(市内全域でなく狭い範囲で集中豪雨がある)
- 短時間の豪雨の回数が増えた。排水路の水生物の減少が顕著。鳥獣被害が増えた。
- 暖冬(雪が降らなくなった)
- 暖冬、台風(特に大型多い)、蛍を見なくなった。
- 暖冬のため灯油の量が減った。
- 暖冬や猛暑日が増えている。
- 地域的に加古川に近く道路より低い家があるため、水害が少しの間集中豪雨でも床下浸水がある。
- 近くで野鳥が巣を作れるのがうれしく思っています。
- 地球温暖化の影響だと思うが、夏がとて暑くなり、冬の寒さは子供のころに比べると雪の降る量も減り、年々暑くなっているように感じる。
- 椿坂なのですが、人通りが少なくなりました。
- 梅雨明けの集中豪雨がなくなった、季節に関係なく、集中豪雨が起こるようになった、夏にエアコン無しで過ごすことが出来なくなった。
- 露柱などの冬が感じられる気温の変化。温暖化が進んだ大雨など。
- 天気予報に関わらず一時的な降雨がある。夏に特に多い。
- 冬季の積雪量が少なく、夏の猛暑日が続き季節感がない。



- 動物
- 突発的豪雨の増加。河川の増水が急である。
- ドレミ幼稚園の近くの川
- 夏、虫が少なくなった。
- 夏が暑い。雪が少ない。
- 夏が暑くなった。冬が少し暖かくなった。
- 夏が暑過ぎる。冬はもっと雪が降るくらい寒かった。
- 夏から秋に豪雨があった。
- 夏でもクーラーが必要になる日が増えた。集中豪雨で学校が休日になる日が増えた。
- 夏と冬の温度差が大きくなった。
- 夏に蚊を見なくなった。
- 夏に蚊やハエが少ない、マムシ、亀、川の魚、しじみが少なくなった。冬の雪が少なくなった。さらにクーラーが必須となった。以前は西脇から中畑へ帰ると涼しかった。
- 夏に草が枯れることがあるようになった。冬に雪が降らなくなった。
- 夏に蝉の数が多かった。
- 夏にトンボがあまり見られなくなった。
- 夏に猛暑が多くなった。冬は雪が降らなくなった。
- 夏の暑さ、局地的な雨、川の魚や蛭などの減少
- 夏の暑さも注意しなければならなくなった。最近では気候の変動が極端に感じられる。
- 夏の暑さや冬の寒さは自然その時々々に各々が知恵を出し考え工夫して生きること。でも生物の対応は、市や地域で考えて頂きたい。田舎で自給自足を大切にしていきたいと思います。
- 夏の異常な暑さ、暖冬、鳥の(カラス)異常な繁殖等
- 夏の気温が5度くらい上がったような。昆虫が見つけられにくくなった、冬、雪が減ったような、河川工事だめだか等河原ではごみ等見当たらない。
- 夏の気温が過去の平均気温より高くなっているように感じます。
- 夏の気温が高くなった、昼間に外に出るのが少なくなった(気温が35°くらいになる為)、今年は冬の気温が高い。
- 夏のゲリラ豪雨が増えたと思います。川幅は広くなりましたが、平成16年の台風以来、大雨になる度川の増水が心配です。
- 夏の代名詞である水泳(プール)が昔と比べてかなり減少している。体を動かしたりする事が低下し運動能力が心配。(子供たちの)
- 夏の猛暑。ゲリラ豪雨。イモリ。水中生物。昆虫の減少
- 夏の猛暑日が増えた、燕の来る数が少なくなった。
- 夏の猛暑日が増え冬は暖冬。集中豪雨による特別警報発令など。台風が大型化、強力化している。近年の台風、洪水の被害は他人事ではない。自然の驚異を感じる。
- 夏の夕立がなくなり夜になっても暑い。家の近所からドジョウ、タニシがいなくなった。
- 夏の夜にクーラーがかかせなくなった。
- 夏場、猛暑が増え日中外出を控える。冬期、冬用タイヤ(スタッドレス)に替えない(ほとんど雪が降らない)。

赤とんぼを見なくなった。

- 夏は暑く冬は暖かく雨が少ない。スモークがかかった日が多い。雀が少なくなった。
- 夏休みに、ラジオ体操をする時間から暑さを感じ、1日のうちに涼しいと感じる時間がなくなってきた。
- 夏休みに猛暑日が増えてプールに入れなくて驚いた。
- 西脇市に限らず世界的に感じられる現象です。
- 西脇小学校の裏の通りを直してほしい。雨が降ると自動車が通るたびにいやな思いをしています。雨水が家のほうにあたります。車の通りも今までと違って激しく通っています。
- 西脇東中学校の前の溝が雨が降ったらすぐに一杯になります。雨が降るたびに心配です。雨の降る季節に見に来てください。お願いします。
- 日照不足、高温による作物不作
- にわか大雨で水路が溢れるようになった。
- 橋げたにいろいろなものがひっかかっている。
- 肌をさす日差しの日々が夏場多くみられる。クマゼミが過去よりも多く見られる。
- ハチや虫を見なくなったが道でゴキブリをよく見かけた。
- 春が短くなり秋がさらに短くなり、その分夏が長くなっておだやかでゆるやかな四季のうつろいがなくなってしまったように思う。
- 比較的夏は猛暑日が増えて、冬は温暖化になってきた。四季を感じるのが少なくなってきたと思う。大きく感じるのはこれからの気候変動による災害などが怖く思う。
- 日野小より南、市役所の間、雑草の種類が生える時期が早くなったり急に変化が現れる。
- 風雨が激しい日が増えた。
- ふきのとう、つくしが見られなくなった。花の咲く時期がおかしい。
- 部分的ではなく地球規模による影響が強い。
- 冬、雪が積もらなくなった。
- 冬暖かく夏暑すぎる。鹿が市街地でよく見るようになった。
- 冬暖かくなってきた気がする。
- 冬が暖かい。
- 冬がとても寒くない、車のガラスが凍る事が無い。
- 冬でも雑草が生えてくるようになった。11月～12月ごろまで蝶が飛んでいる。夏は蝉やカエルの鳴き声が少なくなった。
- 冬なのに妙に暑い、と言うか暖かい日が続いていると思う。去年もわりと暖かかった。暖冬ではないだろうか。猛暑とは逆のことなので関係ないかもしれませんが。
- 冬に寒さを感じなくなった。
- 冬にタンポポが咲いて、蛍を見なくなった。
- 冬に凍結しなくなった、雪が降らない、猛暑日が増えた。
- 冬に雪が少ない。
- 冬に雪が降らない。車の窓が朝から凍らない。
- 冬に雪が降らない積もらない。
- 冬に雪が降らなくなった。30年前は積もっていた。今年は全然冬が寒くない。

- 冬に雪が降らなくなった。子供たちは雪合戦を知らない。猛暑が続いて夏の睡眠不足が辛い。
- 冬に雪の降る回数が減った。
- 冬に雪を見ることが少なくなった。
- 冬庭の霜柱が少なくなった。特に近年はめったに見ない。氷の張る回数が減った。
- 冬の暖かさが不安、猛暑日 40℃が近年にも当地でも記録されるのでは？
- 冬の温度が2～3度高い。
- 冬の温度変化
- 冬の氷柱や池の氷が見られなくなった。
- 冬の寒さがましなように感じる、雪が降らない、夏の暑さが厳しい。
- 冬の霜柱や薄氷が見られなくなり、インフルエンザが春でも流行する年が増え、亜熱帯化しているように思える。
- 冬の霜柱や氷柱が見られなくなった。
- 冬は温度高い。夏は猛暑日
- 冬場の温度が高い。
- 冬場フロントガラスが凍結しなくなった。
- 別にこれと感じたことはない。
- 防災警報が多くなった気がする。
- 蛍、赤トンボ、四季の風物詩的な現象はほとんどなくなり
- 蛍が見られなくなった。
- 蛍の数が減った。川の水の汚れが目立つ。
- 蛍も見られなくなった。川にしじみもなく川に猫柳も見なくなった。河川工事が川より深く川原川端には草木がなくコンクリート仕様になった。子供は泳げる川も遊ぶ川原や森もなくなった。山には住宅が建ち野生の花等は身近ではありません。
- 毎年暑くなっている。
- 毎年少しずつ気温が高くなったように思われる。虫が少し多くなり、雨の降り方が激しい。
- 毎日健康のために歩いているが、7,8,9月は暑くて昼間は歩けません。
- 前は夏らしい夏でしたが、今はすごく暑いです。
- 街の中心に憩いの場なく、野鳥、昆虫等が見る計が無い、大きな河川が3本あるが…美しい景色見る場所が少ない。
- 真冬なのにとても暖かい日が多かったり、以上に暑かったりすること。季節外れの花が咲いている点
- 水が溢れている。用水路の封鎖による。
- 溝、谷川が整備され(U字溝、魚の遡上を阻む段差)小鮎、タニシ、メダカ、蛍などの姿を見かけなくなった。
- 道で寝ているヘビを最近見なくなった、カエルや大きめのアリ、庭のモミジが美しく紅葉しない。ロウバイの花が前年より早く咲いた。1月にタンポポが咲き、綿毛まで出来ていた。
- ミズやナメクジが減った(見かけなくなった)。
- 昔いた蛍が見れなくなった。野鳥が少なくなった。
- 昔は大雨で避難などなかったように思います。10年以上前から市内が浸かったり水の水位がすごく上がったりにしているのはびっくりです。それに夏猛暑すぎて熱中症が怖いです。

- 虫やカエルが少なくなった。
- 野菜の苗が育たなく枯れてしまった。
- 野鳥特に雀が少なくなった、雨量の変化
- やはり猛暑日が増えた。生物や植物なども暑さに耐えられる生き物の存在が大きい。(例、ゴキブリ、カメムシ、外来種、くも他)(人間にとって害になる外来種など)自然災害もあちこちに見られる(山からの土砂、水、枯れ木など)
- 山すその為、田畑に夜に鹿が畑の野菜を食べに来て食べられることが多くなりました。前に山すそに防止ネットが谷町から小坂町に張る賛否があったと思いますが、高田井町は意見がまとまらなく、柵が張られていないので田畑が荒らされて困っております。もう一度再検討してほしい。
- 山添いの谷川町内の水路の改修等が何年も前より放置、そのために大雨で水が増水したり、部落に何回も中止を申し出たが、山の池にごみの放棄。木の伐採で鹿等の食べ物の減少による里山からの侵入、その網の補修や改善等、何年も前に比べてやる気がないように思われる。管理ができないので、鹿等で田畑は荒れ放題のよう。
- 山の松が枯れている。タンポポの品種が異なってきた。川の水量が少なくなった。リンドウ、ワレモコウ等が少なくなった。
- 山の水が多くなり、すぐ近くの山からの水が多く溝から溢れる。小坂に来て 5 年くらいし鹿が多く、フェンスをする前は夏場自宅の庭まで入ってくるようになった。高田井がフェンスをしていないので鹿が出てきて小坂から帰れなく子供たちに危害がないか怖い。高田井も付けてほしい。成田山までであるがそこからないので鹿がどうしても来る。
- 山道にヘビ、イタチが見られなくなった。
- 夕方になると夕立があり、気温が下がっていたが、最近はない。特定の地域内でも極端な集中豪雨や急激な変動(一日や時間的に急変)がある。体温を超える気温上昇が普通化している。
- 夕立が多くなった。猛暑。雪が降らなくなった。
- 夕立が警報になることがある。一回の雨の量が多い。
- 雪、大雪が降らない、冬がぬくい、命にかかわる猛暑と言われる夏、扇風機、クーラーを付けて下さいのアナウンス放送、エコバッグ持参、ストロー廃止
- 雪があまり降らなくなった、夏場クーラーを部屋でひんぱんにかけるようになった。
- 雪が降らなくなった。蛍が見られなくなった。
- 雪が降る回数が減っている。鹿が増えた。
- 雪が毎年降っていたのに降らなくなっている、猛暑の為、夏休みのプールが中止になる。
- 雪が全く降らない、夏なのに夕立がない。
- 雪の積もる日が 10 年前に比べて確実に減っている。
- 夜のエアコン(冷房)使用期間が長くなった。
- 夜の温度が下がらなくなり、蟬が夜まで鳴いている。
- 私は北本町に住んでいますが、南本町(杉原川)の下流が今でも心配する。